

報告第6号

株式会社飛驒の森でクマは踊るの経営状況報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、株式会社飛驒の森でクマは踊るの第3期（平成29年）事業報告及び決算に関する書類並びに第4期（平成30年）事業計画及び予算に関する書類を別紙のとおり報告する。

平成30年6月11日提出

飛驒市長 都 竹 淳 也

第3期（平成29年）事業報告



株式会社 飛騨の森でクマは踊る

株式会社飛驒の森でクマは踊る 第3期事業報告

【事業の経過】

- 第1四半期（平成29年1月から3月）
 - ・3月20日「飛驒市広葉樹のまちづくりシンポジウム」にて小径木広葉樹を活用して製作した家具を発表
- 第2四半期（平成29年4月から6月）
 - ・5月1日 patagonia（パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社）より飛驒市のブナ材を使った「飛驒の森カトラリーセット」を発売
 - ・5月28日～6月1日 国内外4大学から25人の学生等が計23日間飛驒市に滞在して様々な創作活動を行う「Smart Craft Studio（スマート・クラフト・スタジオ）」（2回目）を実施
- 第3四半期（平成29年7月から9月）
 - ・7月7日 渋谷のクリエイティブスペース「100BANCHI」に家具を納品
 - ・8月1日 FabCafeHida 林業体験宿泊プラン開始（農林漁業体験民宿業者登録）
- 第4四半期（平成29年10月から12月）
 - ・10月21日～22日 第3回目となる「ヒダクマ秋祭り2017」を開催
 - ・12月8日 香港のコワーキングスペースへ木製品を納品（初の海外輸出）
 - ・12月22日 株式会社RINNより飛驒の各種広葉樹を使用したキャットツリー「Modern Cat Tree NEKO」（販売価格100万円）を発売

【事業の成果】

- サービスイン1年目（法人設立2年目）である前期の売上高24,541千円（木材10,028千円、合宿10,168千円、FabCafe4,345千円）、営業損失13,662千円、経常損失13,691千円、当期純損失5,370千円に対し、今期は、売上高57,658千円（木材35,685千円、合宿15,084千円、FabCafe6,889千円）（前期比235%）となりました。営業利益は849千円、経常利益は629千円、当期純利益につきましては444千円となり、法人設立後初の黒字決算となりました。
- 営業活動全般において、メールマガジンの開始と営業管理ツールの導入、及び社内情報共有ツールを導入することで、営業管理体制と内部コミュニケーションを強化しました。
- 木材の加工販売事業は、前期に引き続き特注の空間、家具制作を増やした他、初の

海外輸出、大手ブランドとの共同商品やキャットツリー等のユニークな高付加価値商品の開発と製造を実現しました。第4期は、製材所との連携による木材在庫のデータベース化と地域内加工ネットワークの強化による生産力と対応力の向上、また新たなる商品開発、特に、小径木のさらなる活用の挑戦として、ストランドボードや薪、チップの商品開発と販路開拓を進めています。

合宿事業は、昨年に引き続き「Smart Craft Studio (スマート・クラフト・スタジオ)」等の大型合宿の他、大学や企業の開発や研修合宿を行いました。また、8月から林業体験施設としてサービスを開始したことにより、建築家・デザイナーから一般の方まで、木工制作の受け入れが拡大しています。第4期はそれらの事業の拡大とサービス向上を図るとともに合宿や宿泊事業ではなく、「交流事業」と位置づけ、秋祭り等のイベントも含めて収益拡大と、地域の関係人口増加や経済効果に寄与するよう取り組みを進めています。

【社員等の状況（平成29年12月末時点）】

役員4名、監査役1名、社員7名（出向者、パートアルバイト含む）

※平成28年12月末時点（参考）

役員4名、監査役1名、社員5名（出向者、パートアルバイト含む）

第 3 期

決 算 報 告 書

平成 29 年 1 月 1 日から

平成 29 年 12 月 31 日まで

株式会社 飛驒の森でクマは踊る
(法人番号:9200001031726)

平成29年12月31日現在

(単位:円)

科 目	前 期 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
(資 産 の 部)				
I 流 動 資 産	25,497,311	31.7	32,129,288	37.6
現金及び預金	17,235,231	21.4	19,740,567	23.1
売掛金	1,787,308	2.2	9,161,834	10.7
たな卸資産	2,206,813	2.7	3,193,787	3.7
未収入金	4,267,959	5.3	0	0.0
替	0	0.0	33,100	0.0
II 固 定 資 産	54,962,273	68.3	53,247,059	62.4
有形固定資産	52,402,514	65.1	51,296,841	60.1
建物	21,994,690	27.3	21,209,182	24.8
機械及び装置	2,294,525	2.9	1,974,360	2.3
山	4,040,000	5.0	4,040,000	4.7
土地	24,073,299	29.9	24,073,299	28.2
無形固定資産	2,539,759	3.2	1,930,218	2.3
ソフトウェア	2,539,759	3.2	1,930,218	2.3
投資その他の資産	20,000	0.0	20,000	0.0
出資	20,000	0.0	20,000	0.0
III 繰 延 資 産	0	0.0	0	0.0
資 産 の 部 合 計	80,459,584	100.0	85,376,347	100.0

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(負 債 の 部)				
I 流 動 負 債	(3,147,240)	3.9	(10,124,310)	11.9
買 掛 金	1,382,467	1.7	576,075	0.7
1年以内返済長期借入金	0	0.0	2,505,000	2.9
未 払 金	1,504,735	1.9	6,762,166	7.9
未 払 法 人 税 等 金	185,000	0.2	185,000	0.2
預 り	75,038	0.1	96,069	0.1
II 固 定 負 債	(44,000,000)	54.7	(41,495,000)	48.6
長 期 借 入 金	44,000,000	54.7	41,495,000	48.6
負 債 の 部 合 計	47,147,240	58.6	51,619,310	60.5
(純 資 産 の 部)				
I 株 主 資 本	(33,312,344)	41.4	(33,757,037)	39.5
1. 資 本 金	24,040,000	29.9	24,040,000	28.2
2. 資 本 剰 余 金	(20,000,000)	24.9	(20,000,000)	23.4
(1) 資 本 準 備 金	20,000,000	24.9	20,000,000	23.4
3. 利 益 剰 余 金	(10,727,656)	13.3	(10,282,963)	12.0
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(-10,727,656)	-	(-10,282,963)	-
繰 越 利 益 剰 余 金	10,727,656	13.3	10,282,963	12.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)	0.0	(0)	0.0
III 新 株 予 約 権	(0)	0.0	(0)	0.0
純 資 産 の 部 合 計	33,312,344	41.4	33,757,037	39.5
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	80,459,584	100.0	85,376,347	100.0

△

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売上高	24,541,500	100.0	57,658,288	100.0
売上高引戻り	24,541,500	100.0	57,658,788	100.0
	0	0.0	500	0.0
II 売上原価	15,533,187	63.3	27,665,508	48.0
期首たな卸高	0	0.0	0	0.0
仕入高	3,180,205	13.0	4,666,914	8.1
当期製品製造原価	12,817,070	52.2	25,048,917	43.4
合期末たな卸高	15,997,275	65.2	29,715,831	51.5
売上総利益	464,088	1.9	2,050,323	3.6
	9,008,313	36.7	29,992,780	52.0
III 販売費及び一般管理費	22,670,463	92.4	29,143,689	50.5
販売費及び一般管理費	22,670,463	92.4	29,143,689	50.5
営業利益(損失)	13,662,150	55.7	849,091	1.5
IV 営業外収益	436,441	1.8	320,765	0.6
受取利息	3,339	0.0	184	0.0
受取配当	247	0.0	700	0.0
雑収入	432,855	1.8	319,881	0.6
V 営業外費用	466,076	1.9	539,994	0.9
支払利息	466,076	1.9	539,994	0.9
経常利益(損失)	13,691,785	55.8	629,862	1.1
VI 特別利益	39,150,000	159.5	0	0.0
補助金収入	39,150,000	159.5	0	0.0
VII 特別損失	30,828,996	125.6	0	0.0
固定資産圧縮損	30,828,996	125.6	0	0.0
税引前当期純利益(損失)	5,370,781	21.9	629,862	1.1
法人税、住民税及び事業税	185,561	0.8	185,169	0.3
当期純利益(損失)	5,556,342	22.6	444,693	0.8

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成29年 1月 1日から
平成29年12月31日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
販 売 員 給 与	4,071,484	16.6	3,016,322	5.2
旅 費 交 通 費	914,024	3.7	2,429,600	4.2
広 告 宣 伝 費	391,490	1.6	452,412	0.8
容 器 送 達 費	0	0.0	54,218	0.1
発 会 議 費	163,225	0.7	849,813	1.5
車 両 費	5,278	0.0	6,130	0.0
事 務 員 給 与	19,880	0.1	575,799	1.0
法 定 福 利 費	41,550	0.2	78,001	0.1
厚 生 費	393,042	1.6	239,834	0.4
出 向 負 担 金	5,918	0.0	90,496	0.2
減 価 償 却 費	2,461,964	10.0	7,663,607	13.3
地 代 入 家 賃	1,905,950	7.8	2,195,414	3.8
修 繕 費	379,151	1.5	821,490	1.4
事 務 用 消 耗 品	480,556	2.0	0	0.0
通 信 費	103,700	0.4	163,040	0.3
水 道 光 熱 費	76,349	0.3	226,859	0.4
租 税 課 金	131,225	0.5	188,867	0.3
寄 付 交 際 費	842,896	3.4	1,443,890	2.5
接 待 費	396,001	1.6	505,400	0.9
保 備 品 消 耗 品	800	0.0	0	0.0
管 組 委 員 費	217,547	0.9	449,147	0.8
倉 庫 費	359,687	1.5	252,675	0.4
研 究 費	7,163,447	29.2	3,530,957	6.1
合 計	754,439	3.1	624,106	1.1
	63,900	0.3	66,000	0.1
	1,098,934	4.5	2,491,657	4.3
	91,188	0.4	82,305	0.1
	136,838	0.6	645,650	1.1
合 計	22,670,463	92.4	29,143,689	50.5

たな卸資産の計算内訳

平成29年12月31日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
製 材 品	0	0.0	1,934,161	3.4
原 仕 掛 品 (半 成 品)	1,495,830	6.1	1,157,310	2.0
貯 蔵 品	695,819	2.8	0	0.0
合 計	15,164	0.1	102,316	0.2
	2,206,813	9.0	3,193,787	5.5

製造原価報告書

平成29年 1月 1日から
平成29年12月31日まで

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 材料費				
期首材料たな卸高	298,870	2.2	526,056	2.2
材料仕入高	4,339,537	32.1	9,017,739	37.0
合計	4,638,407	34.3	9,543,795	39.2
期末材料たな卸高	1,031,742	7.6	535,462	2.2
当期材料費	3,606,665	26.7	9,008,333	37.0
II 労務費				
賃金	625,183	4.6	4,262,555	17.5
法定福利費	64,299	0.5	339,476	1.4
合計	689,482	5.1	4,602,031	18.9
III 経外注加工費				
運り	4,770,838	35.3	9,543,812	39.2
一入	65,000	0.5	66,420	0.3
修繕	0	0.0	3,240	0.0
賃借	2,963	0.0	264,098	1.1
消耗品	0	0.0	16,200	0.1
交雑	4,377,941	32.4	786,254	3.2
当期経外注加工費用	0	0.0	41,110	0.2
合計	0	0.0	21,600	0.1
合計	9,216,742	68.2	10,742,734	44.1
当期首仕掛品たな卸高	13,512,889	100.0	24,353,098	100.0
合計	0	0.0	695,819	2.9
期末仕掛品たな卸高	13,512,889	100.0	25,048,917	102.9
当期製品製造原価	695,819	5.1	0	0.0
合計	12,817,070	94.9	25,048,917	102.9

△

株主資本等変動計算書

株式会社 飛驒の森でクマは踊る

平成29年 1月 1日から
平成29年12月31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高	24,040,000	24,040,000
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>24,040,000</u>	<u>24,040,000</u>
2. 資 本 剰 余 金		
(1) 資 本 準 備 金		
当期首残高	20,000,000	20,000,000
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>20,000,000</u>	<u>20,000,000</u>
3. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	-5,171,314	-10,727,656
当期変動額		
当期純利益(損失)	-5,556,342	444,693
当期末残高	<u>-10,727,656</u>	<u>-10,282,963</u>
その他利益剰余金合計		
当期首残高	-5,171,314	-10,727,656
当期変動額		
当期純利益(損失)	-5,556,342	444,693
当期末残高	<u>-10,727,656</u>	<u>-10,282,963</u>
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	38,868,686	33,312,344
当期変動額		
当期純利益(損失)	-5,556,342	444,693
当期末残高	<u>33,312,344</u>	<u>33,757,037</u>
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	38,868,686	33,312,344
当期変動額		
当期純利益(損失)	-5,556,342	444,693
当期末残高	<u>33,312,344</u>	<u>33,757,037</u>

△

個別注記表

平成29年 1月 1日から
平成29年12月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

移動平均法による原価法を採用しております。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 会計方針の変更に関する注記

1. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は、従来税抜方式を採用しておりましたが、当期から税込方式により処理することといたしました。

IV. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

3,107,129円

2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

(1) 短期金銭債権

50,000円

(2) 短期金銭債務

4,242,416円

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

2,404株

VI. 関連当事者との取引に関する注記

1. 売上高

株式会社ロフトワーク 11,473,240円

株式会社トビムシ 4,590,000円

2. 出向負担金

株式会社ロフトワーク 6,773,607円

株式会社トビムシ 890,000円

VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、14,042.02円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、184.98円であります。

以上

監査報告書

私監査役は、平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までの第 3 期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第 27 条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 追記情報

なし

平成 30 年 3 月 1 日

株式会社飛驒の森でクマは踊る

監査役 土谷 貞雄

第4期（平成30年）事業計画



株式会社 飛騨の森でクマは踊る

株式会社飛驒の森でクマは踊る 第4期事業計画

【総括事項】

当社は、平成27年5月25日の法人設立後、第1期（平成27年）は主に事業拠点となる「F a b C a f e H i d a（ファブカフェヒダ）」（以下「F a b C a f e」と表記）の大規模改修等の設備投資を行い、第2期（平成28年）は実質的なサービス提供1年目、第3期（平成29年）は、これまでの投資と培ったネットワークとノウハウを活かし、当初事業計画どおり単年度黒字を達成しました。

今期は、構築した事業基盤を確固たるものとし、魅力的な木材製品のデザイン・開発の加速や、継続的な交流事業の開発・実施に向けた「布石の年」と位置づけ、積極的な投資を行っていきます。そのため、一時的に赤字となることを想定していますが、出資企業である株式会社ロフトワークから3,000株の増資を行うことで、さらに地域への投資の加速ならびに経済効果の創出を図りたいと考えております。具体的には、ビジネス拡大に向けた組織人材の拡充、木材加工データベースの構築、w e bサイトを中心とした営業ツールの強化、木工加工拠点の整備を実施します。

木材加工販売事業、合宿滞在事業ともに、これまで以上に付加価値の高い商品・サービスの開発に努めながら、また、営業面においては、昨年度から開始したW e bサイト、メールマガジンを活用したオンラインでの営業マーケティングシステムを引き続き継続、強化します。

当社の主要事業における今期の売上目標及び事業の現況と見込は以下の通りです。

【事業項目別事項】

①木材事業

今期売上目標：60,000千円

（前期決算対比：168.1%）

（目標設定の根拠）

- 都市部の企業のオフィスやコミュニケーションスペースの内装材や造作家具（1件当たり売上約1,000～5,000千円）の受注がすでに数件確定しており、引き続き同様の案件10件程度の受注を見込んでいます。地域の木工関連事業者との連携を強化することで、対応力と生産力を強化します。
- 従来未利用または低価値であった木材を、広葉樹ストランドボードや薪、チップとして高付加価値化する商品の開発、販路開拓を行います。
- 前期に開発したキャットタワーやパタゴニア社のカトラリーのように、今後もデザイナーやマーケットと連携し、個性的で高付加価値の商品の開発、販売に取り組みます。また、それらの商品は出自が明らかな飛驒市産材であることを価値として

森林環境保全や安全安心に関心の高い層に訴求するものであるため、飛騨市の広葉樹ブランドの PR に寄与しながら、市場を拡大します。

②合宿滞在事業

今期売上目標：10,000千円

(対前期決算：66.3%)

(目標設定の根拠)

- これまでの「合宿滞在事業」を、地域の事業者と連携してサービスを提供し、地域の関係人口増加に寄与する「交流事業」と位置づけ、合宿や宿泊だけではなく、イベント等も含めて交流を促進していきます。
- 昨年3月に旅館業法における簡易宿所の営業許可を取得、さらに農林水産大臣より「農林漁業体験民宿」に登録され、国内でも事例が少ない林業木工体験宿泊施設として、本年度は本格的にユニークな体験パッケージメニューやツアー企画を設けることで、利用者増を目指します。
- 2期連続で実施した海外の大学生が長期滞在しながら飛騨市の木工伝統技術や広葉樹を中心とした木材活用を学び、様々な創作活動を行う合宿『Smart Craft Studio (スマート・クラフト・スタジオ)』については、本年の実施はありませんが、それら合宿の事例蓄積とその発信の効果から、海外の建築系の合宿、企業の開発合宿の実施(1件当たり売上約500~1,000千円)がすでに数件確定しており、引き続き同様の案件10件程度の受注を見込んでいます。

③F a b C a f e 事業

今期売上目標：6,000千円

(対前期決算：87.1%)

(目標設定の根拠)

- 前期の営業結果及び課題を踏まえ、地域の方々の声を取り入れながら、メニューの改善、F a b (ものづくり体験)メニューの充実、イベント等の企画を増やすことで集客増を見込みます。
- 引き続き、市役所及び市内事業者、森林活用や木育推進団体等との連携を深め、場所の利用や共同イベントの開催により利用者の増を見込みます。

株式会社飛驒の森でクマは踊る 第4期収支計画

勘定科目名		平成29年度実績	平成30年度計画	前年比 (%)
	売上高	57,658	76,000	131.8
	純売上高	57,658	76,000	131.8
	仕入高	4,667	6,500	139.3
	当期製造原価	25,049	38,000	151.7
	棚卸額	▲ 2,050	3,000	▲ 146.3
	当期売上原価	27,666	44,500	160.8
売上総利益		29,992	31,500	105.0
販管費及び一般管理費	販売員給与	3,016	5,000	165.8
	旅費交通費	3,006	4,000	133.1
	広告宣伝費	452	860	190.3
	発送配達費	904	900	99.6
	会議費	6	10	166.7
	役員報酬	0	2,700	皆増
	事務員給与	78	480	615.4
	法定福利費	330	350	106.1
	出向負担金	7,664	8,000	104.4
	減価償却費	2,195	2,500	113.9
	リース料	821	1,000	121.8
	地代家賃	0	350	皆増
	修繕費	163	200	122.7
	事務用消耗品費	227	150	66.1
	通信費	189	200	105.8
	水道光熱費	1,444	1,500	103.9
	租税公課	505	550	108.9
	寄付金	0	0	—
	接待交際費	449	450	100.2
	保険料	253	300	118.6
	備品消耗品	3,531	3,000	85.0
	管理諸費	624	700	112.2
	組合費会費	66	70	106.1
委託料	2,492	4,260	170.9	
図書研究費	82	90	109.8	
雑費	646	1,000	154.8	
小計	29,143	38,620	132.5	
営業利益 (損失)		849	▲ 7,120	▲ 838.6
	雑収入	321	0	皆減
	営業外利益	321	0	皆減
	支払利息	540	540	100.0
	繰越資産償却	0	0	—
	営業外費用	540	540	100.0
特別収益		0	0	—
特別損失 (固定資産圧縮損)		0	0	—
経常利益 (損失)		630	▲ 7,660	▲ 1,215.9